

平成26年度 大規模建設事業評価監視委員会のご意見と今後の対応方針

■No.2 下水道における防災・機能保持に向けた基盤強化【事後評価】

項目	委員の意見	評価監視委員会のご意見を踏まえた今後の対応方針
その他	<p>浸水ハザードマップにより浸水想定をあらかじめ市民に伝えておくということは、認識を高めるという意味で非常に重要なことだと思うので、積極的に広報し、推進していただきたい。</p>	<p>これまでは、関係地区住民への全戸配布、ホームページ掲載などの広報活動を実施してきました。 浸水被害の最小化を図るため、より一層、積極的なPRに努めるとともに、地区ごとの被害状況を踏まえながら、浸水ハザードマップのエリア拡大を進めていきたいと考えています。</p>
その他	<p>市民にとってインフラは安全であることが普通で、何かあると「どうなっているんだ」となりがちだが、地道に対策を進めているということが市民に伝わっていない点もあるので、今後もさらに一層PRを進めていただきたい。</p>	<p>今後も引き続き、イベントや施設見学の開催、教育機関との連携による啓発活動など、より多くの方が下水道施設に触れ、役割を知ることができる機会を設けたいと考えています。 また、主催事業やイベント開催時の事後アンケートを強化し、市民のニーズをとらえた効果的な広報活動に努めます。</p>